



市長Dトーク

入来地域 意見交換会

薩摩川内市長 田中良二

令和6年8月6日



1 入来地域の動向

(1) 人口の推移（本市）

合併時と現在の人口を比較すると、旧市町村別において、**全地域で人口減少**している。

該当年月	全市人口
平成16年10月1日現在	105,136人
平成21年10月1日現在	101,559人
平成26年10月1日現在	98,344人
令和元年10月1日現在	94,649人
令和6年7月1日現在	90,918人

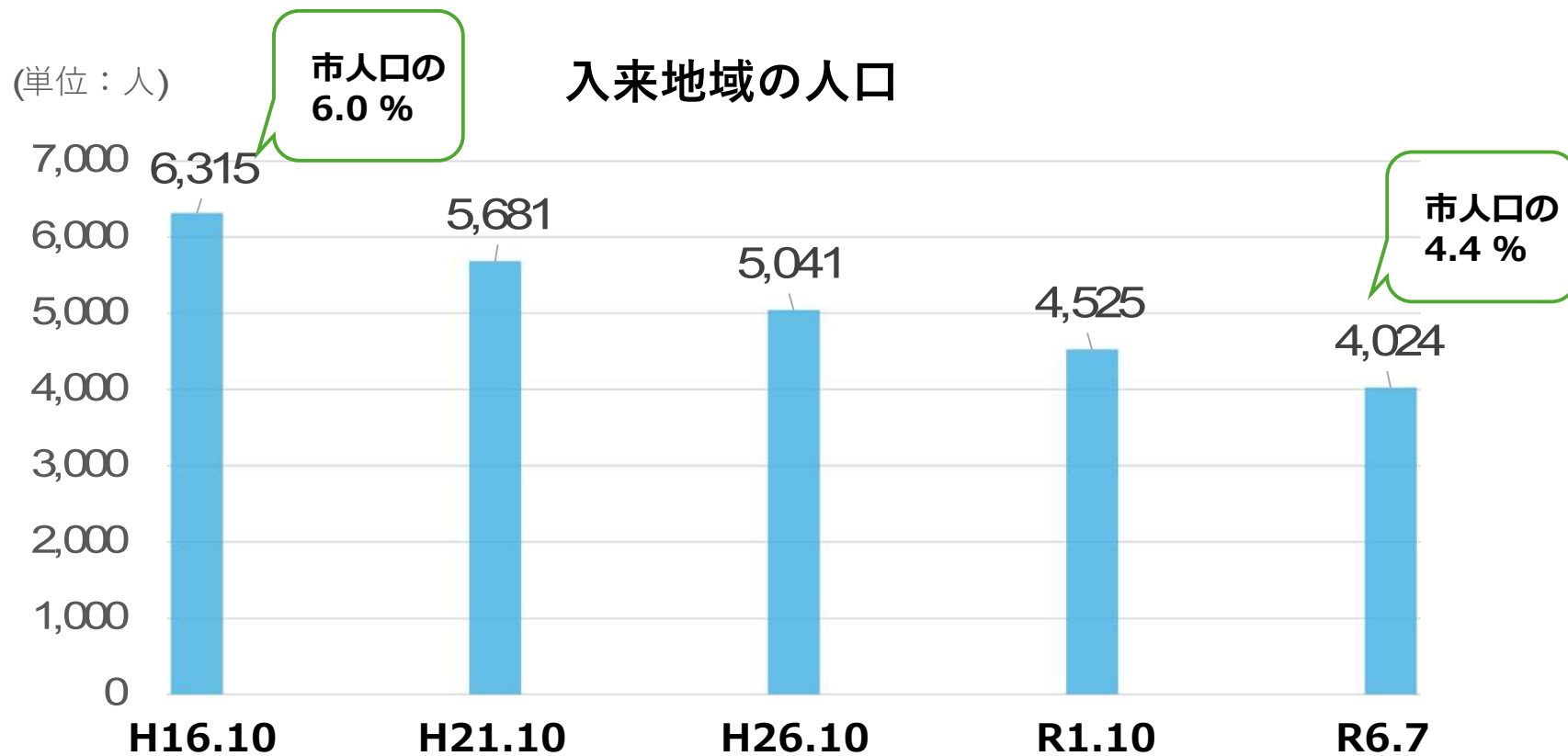
△14,218人
△13.5%

（人数は住民基本台帳による）

1 入来地域の動向

(2) 人口の推移（入来地域）

入来地域における住民基本台帳の人口は、平成16年と令和6年を比較すると、**人口は36.3%の減少** となっている。
(市全域：△13.5%)



1 入来地域の動向

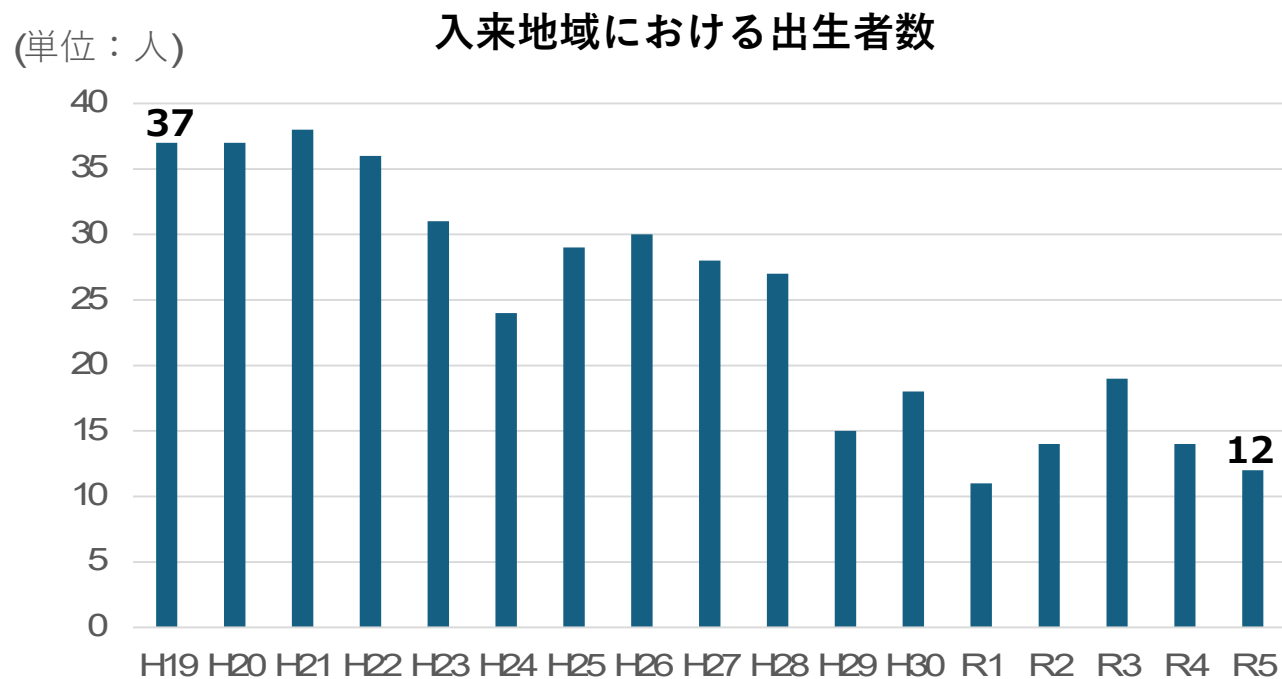
(3) 出生者数の推移

本市の出生者数について、全体的に**減少傾向**である。

入来地域における出生者数

平成19年：37人（市全体の約3.8%）

令和5年：12人（市全体の約1.8%）



1 入来地域の動向

(4) 教育環境

合併時の小・中学校数

63校（47小学校、16中学校）



現在（R6.4）の小・中学校数

34校（23小学校、10中学校、1義務教育学校）

- ・ H30. 3.31 朝陽小学校 閉校
- ・ H30. 3.31 大馬越小学校 閉校

1 入来地域の動向

小学校・義務教育学校（前期）

各年度5月1日現在

児童・生徒数

地域別	H16	H20	H25	H30	R5	合併後 減少数	合併後 減少率
総数	6,313	6,033	5,622	5,531	5,060	△ 1,253	-19.8%
川内	4,696	4,532	4,310	4,362	4,182	△ 514	-10.9%
樋脇	402	380	345	301	249	△ 153	-38.1%
入来	332	250	222	224	199	△ 133	-40.1%
東郷	330	381	318	302	184	△ 146	-44.2%
祁答院	239	219	198	161	126	△ 113	-47.3%
里	75	54	64	51	41	△ 34	-45.3%
上甕	62	43	41	28	21	△ 41	-66.1%
下甕	139	154	111	73	40	△ 99	-71.2%
鹿島	38	20	13	29	18	△ 20	-52.6%

1 入来地域の動向

中学校・義務教育学校（後期）

各年度5月1日現在

児童・生徒数

地域別	H16	H20	H25	H30	R5	合併後 減少数	合併後 減少率
総数	3,470	2,984	2,741	2,591	2,538	△ 932	-26.9%
川内	2,532	2,208	2,079	2,018	1,993	△ 539	-21.3%
樋脇	241	201	181	155	135	△ 106	-44.0%
入来	197	176	101	115	114	△ 83	-42.1%
東郷	175	157	190	135	158	△ 17	-9.7%
祁答院	152	123	112	90	76	△ 76	-50.0%
里	46	30	17	27	36	△ 10	-21.7%
上甕	40	24	16	14	-	△ 40	-100.0%
下甕	73	55	45	37	26	△ 47	-64.4%
鹿島	14	10	-	-	-	△ 14	-100.0%

1 入来地域の動向

(5) 事業所の推移

入来地域における事業所数は、**微減**している。

製造業の従業者数は、平成24年から平成28年の間で、
△721人減少（△90.7%）している。

年	区 分		市全体	入来
H24	総数	事業所数	4,405	204
		従業者数	40,986	2,021
	製造業	事業所数	245	10
		従業者数	8,674	795
H28	総数	事業所数	4,334	197
		従業者数	40,948	1,303
	製造業	事業所数	257	10
		従業者数	8,034	74
R3	総数	事業所数	3,964	191
		従業者数	44,153	1,445
	製造業	事業所数	241	11
		従業者数	8,416	75

数値：「経済センサスー活動調査」

2 入来地域に係る取組 【入来工業団地】

入来工業団地 *Iriki industrial park*



富士通インテグレートッドマイクロテクノロジー
(※) 工場跡地 ※H25.10撤退



【敷地面積】 101,847m²
未分譲面積 71,257m²

2 入来地域に係る取組 【入来工業団地】

入来工業団地

Iriki industrial park

1 所在地	薩摩川内市入来町副田5937-6外3筆(旧富士通跡地)
2 面積	全体101,847㎡(30,863坪) 未分譲 71,257㎡ 分譲済 30,590㎡ (一部手続中)
3 地目	宅地
4 区域指定	都市計画区域(工業地域)
5 インフラ	上水道、普通高圧電力、特別高圧電力 国道328号まで約300m、市道接道(幅員8~10m)
6 アクセス	川内駅16km(車25分)、鹿児島空港40km(車50分)、 川内港31km(車45分)、薩摩川内都IC18km(車30分) 始良IC25km(車35分)
7 工場立地法	緑地5%以上、環境施設10%以上
8 都市計画法	工業地域
9 建築基準法	建ぺい率60%、容積率200%

2 入来地域に係る取組 【入来工業団地】

10 入来工業団地のみの優遇制度

- | | |
|---------|-------------------------------------|
| (1)減額譲渡 | 分譲価格 2,964円/㎡(9,800円/坪) |
| (2)減額貸付 | 賃貸価格 297円/㎡・年(980円/坪・年) |
| (3)無償譲渡 | 土地を貸借した場合は、連続10年以上操業することにより、土地を無償譲渡 |
| (4)税制 | 固定資産税10年間免除(操業の翌年から10年間)※一定の要件あり |

※対象は工業生産施設等(工業生産施設、情報サービス施設、研究開発施設、流通業務施設、次世代エネルギー関連施設等)になります。
(5人以上の新規雇用が伴うものに限る。)

11 薩摩川内市企業立地支援補助金

- | | |
|---------------|---------------------|
| (1)用地取得費補助 | 取得費の6/10【上限額1億円】 |
| (2)施設設備費補助 | 取得費の1/10【上限額1億円】 |
| (3)賃借費補助(3年間) | 賃借費の5/10【上限額3千万円/年】 |

※(1)～(3)は選択制(いずれか一つ)となっています。

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| (4)新規雇用補助
(上限額1億円) | 新規 正規雇用数×30万円(薩摩川内市民に限る。) |
| | 新規 非正規雇用数×20万円(//) |

竹セルロースナノファイバーを活用した事業は、雇用1名あたりの補助額が50万円(非正規雇用は30万円)に拡充されます。

12 その他

- | | |
|---------|-----------------------|
| (1)分譲方法 | オーダーメイド方式(原則5,000㎡以上) |
|---------|-----------------------|

2 入来地域に係る取組 【 遊休公共施設活用 】

遊休公共施設を利用したワイナリー事業

（ 名称 ： 朝陽ワイナリー ）

【 校 舎 】 ワイナリー、食品加工（コーヒー豆焙煎等）、
カフェコーナーとして利用
また、一部、テナント事業として利用

【体育館】 実業団バドミントン練習場としての利用

【 校 庭 】 将来的にブドウの栽培用のハウスの整備地として利用

【 校 庭：事業計画変更 】 来客者が増加したため、簡易舗装し、
駐車場として利用

- ・ 事業箇所 旧朝陽小学校
 （ 建物：2,161.59㎡ 土地：7,152.00㎡ ）
- ・ 開 所 式 令和5年6月5日（月）
- ・ 雇用計画 新規社員：正社員2名
- ・ 地域貢献 校舎内のコミュニティスペースを開放する

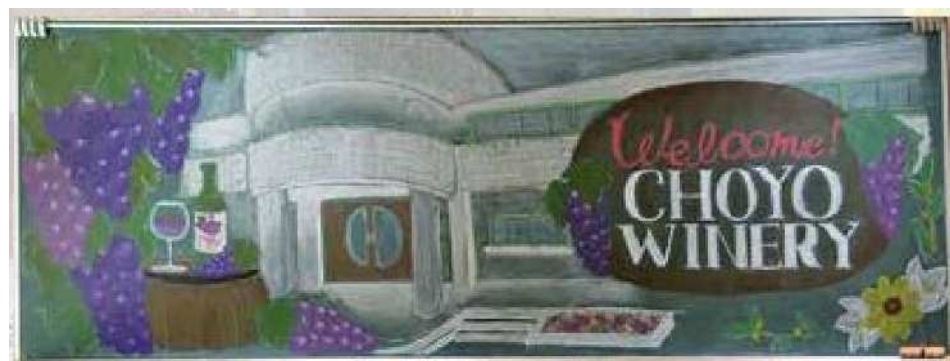
2 入来地域に係る取組 【 遊休公共施設活用 】

遊休公共施設を利用したワイナリー事業



令和5年8月10日
広報薩摩川内（抜粋）

本市初のワイナリー
朝陽ワイナリーは令和5年6月に旧朝陽小学校（入来町浦之名）にオープンした本市初のワイナリー。正面玄関を入ると、靴箱や黒板など小学校の名残を感じることができます。



▲就労継続支援A型事業所を利用する方々で制作した黒板アート

2 入来地域に係る取組 【 遊休公共施設活用 】



川内商工高校インテリア科3年生

「朝陽ワイナリー」の
ロゴマーク考案



・ 令和6年6月20日 審査会
(生徒14作品審査)

▶ 看板、名刺、
ワインラベルなどに活用予定

令和6年6月25日
南日本新聞記事(抜粋)

2 入来地域に係る取組 【デマンド交通】

入来デマンド交通 ＜ きんかん号 ＞

利用者の要望に応じて、基本路線を中心とした入来地域をジャンボタクシー等を利用して運行

利用方法

①事前に御入来タクシー【☎44-3311】に予約の連絡をします。



デマンドタクシーの予約をお願いします。
①住所・お名前・利用人数・電話番号
(携帯電話をお持ちの場合は携帯電話番号)
②利用する便(〇〇エリア線の何時の便)

〇〇(住所)の〇〇さんですね。
〇〇時〇〇分頃に乗車場所までお迎えに参ります
ので時間までに乗車場所でお待ちください。



②乗車時間に乗車場所でお待ちください。



③降車する際に、乗車料金をお支払いください。

乗車料金 乗車1回につき	
大人(中学生以上)	150円
小学生	80円
身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の提示者及び関する介護入証の提示者	80円
65歳以上の運転経歴証明書・運転免許自主返納カードの提示者	80円

● 運行開始
H22.7

● 事業内容

副田エリア線

5便/日

朝陽エリア線

6便/日

大馬越エリア線

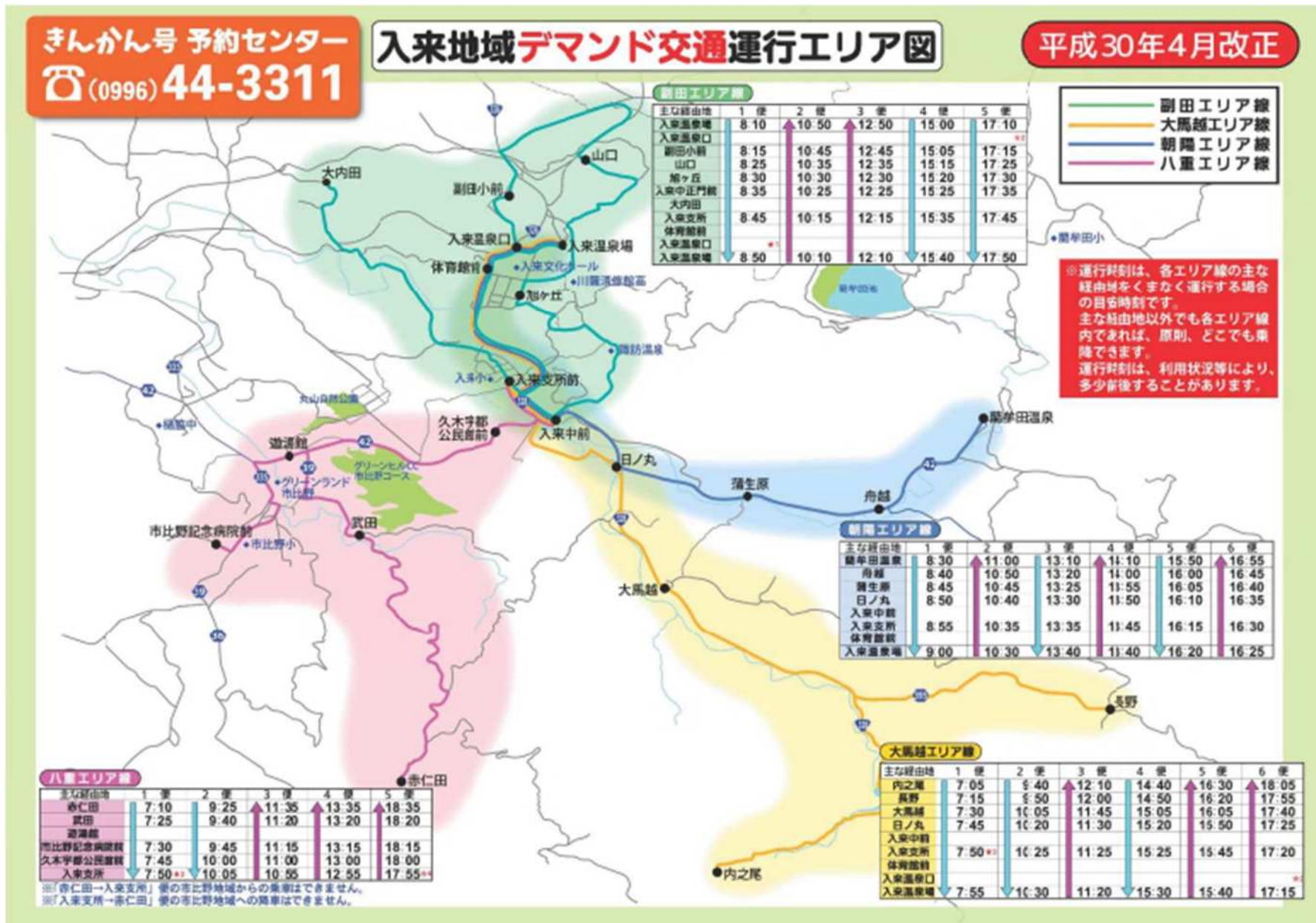
6便/日

八重エリア線

5便/日

● 利用者数
R5年度
2,635人

2 入来地域に係る取組 【デマンド交通】



2 入来地域に係る取組 【教育】

スクールバス廃止で生徒のタクシー代を一部補助

○ 通学支援策

鹿児島県薩摩川内市は13日発表した2024年度一般会計当初予算案に、スクールバスが廃止となった県立川内高校生の通学支援策として129万円を計上した。同市の祁答院地域から通う在校生3人を対象に、タクシー利用料を一部補助する。



(資料写真) 川内高校のスクールバス

拡大

同校のスクールバスは昨年7月、バス会社の運転手不足などを理由に廃止された。高校はその後、独自にバスを借り上げて運行してきたが、大幅な赤字により3月末で終了する。

市や学校によると、祁答院地域の3人は来年度、登校は路線バスで可能だが、下校の時間帯は途中の入来鉄道記念館までしか便がない。このため記念館から先のタクシー利用料を支援する。1回につき1人300円の自己負担が生じるが、別の半額補助により実質150円になる。4月入学の生徒は対象外。

2 入来地域に係る取組 【 樋脇川 】

リバーフロント整備事業 一級河川 樋脇川

樋脇川に関するこれまでの事業



現在の樋脇川(入来麓地区)の航空写真(令和3年10月撮影)

2 入来地域に係る取組 【 樋脇川 】

リバーフロント整備事業 一級河川 樋脇川

河道状況（ 河川環境 ） ①



2 入来地域に係る取組 【 樋脇川 】

リバーフロント整備事業 一級河川 樋脇川

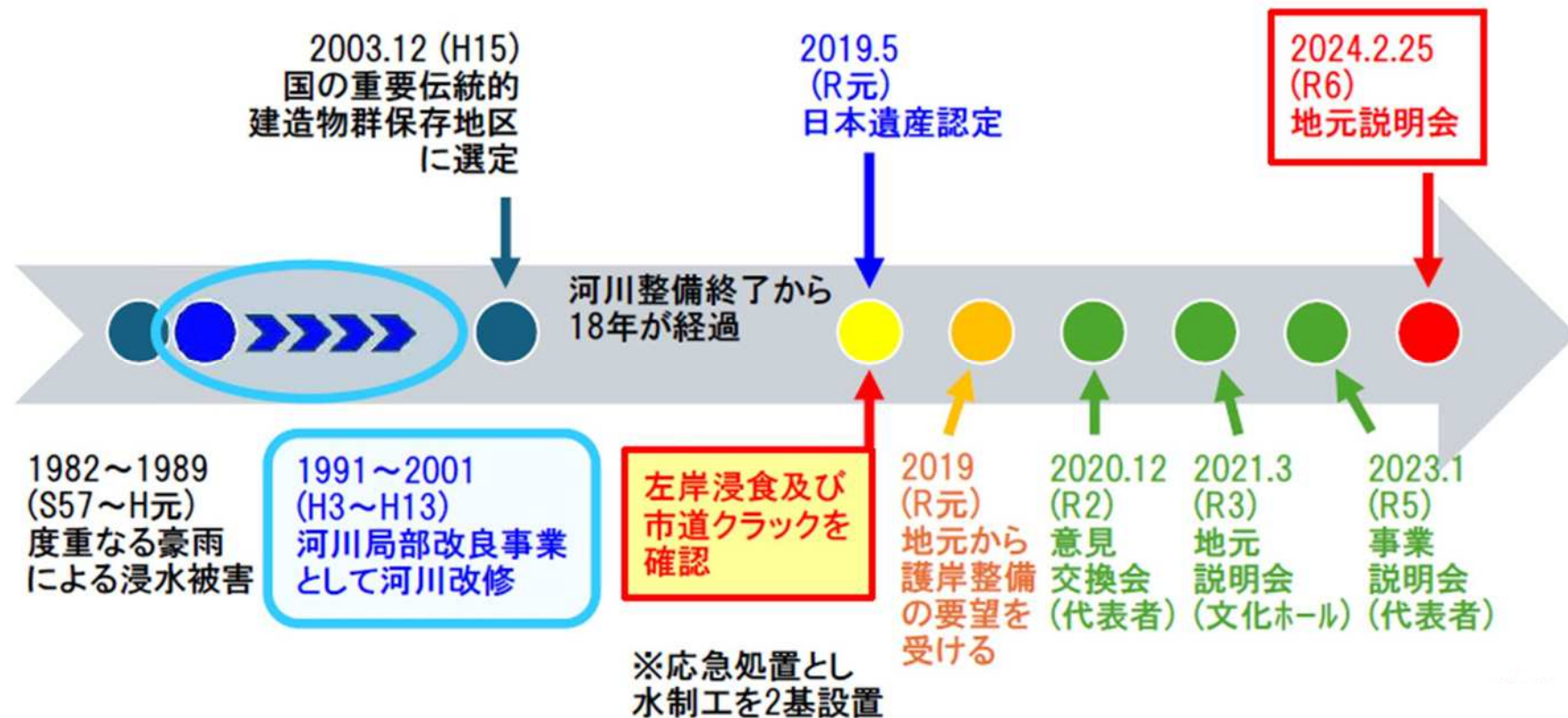
河道状況（ 河川環境 ） ②



2 入来地域に係る取組 【 樋脇川 】

リバーフロント整備事業 一級河川 樋脇川

河川整備の策定 （ 地域の意向の反映 ）



2 入来地域に係る取組 【 樋脇川 】

リバーフロント整備事業 一級河川 樋脇川

護岸の構造（ 入来産石材を採用 ）



参考とするさつま町虎居地区の石積護岸
（一級河川 川内川）



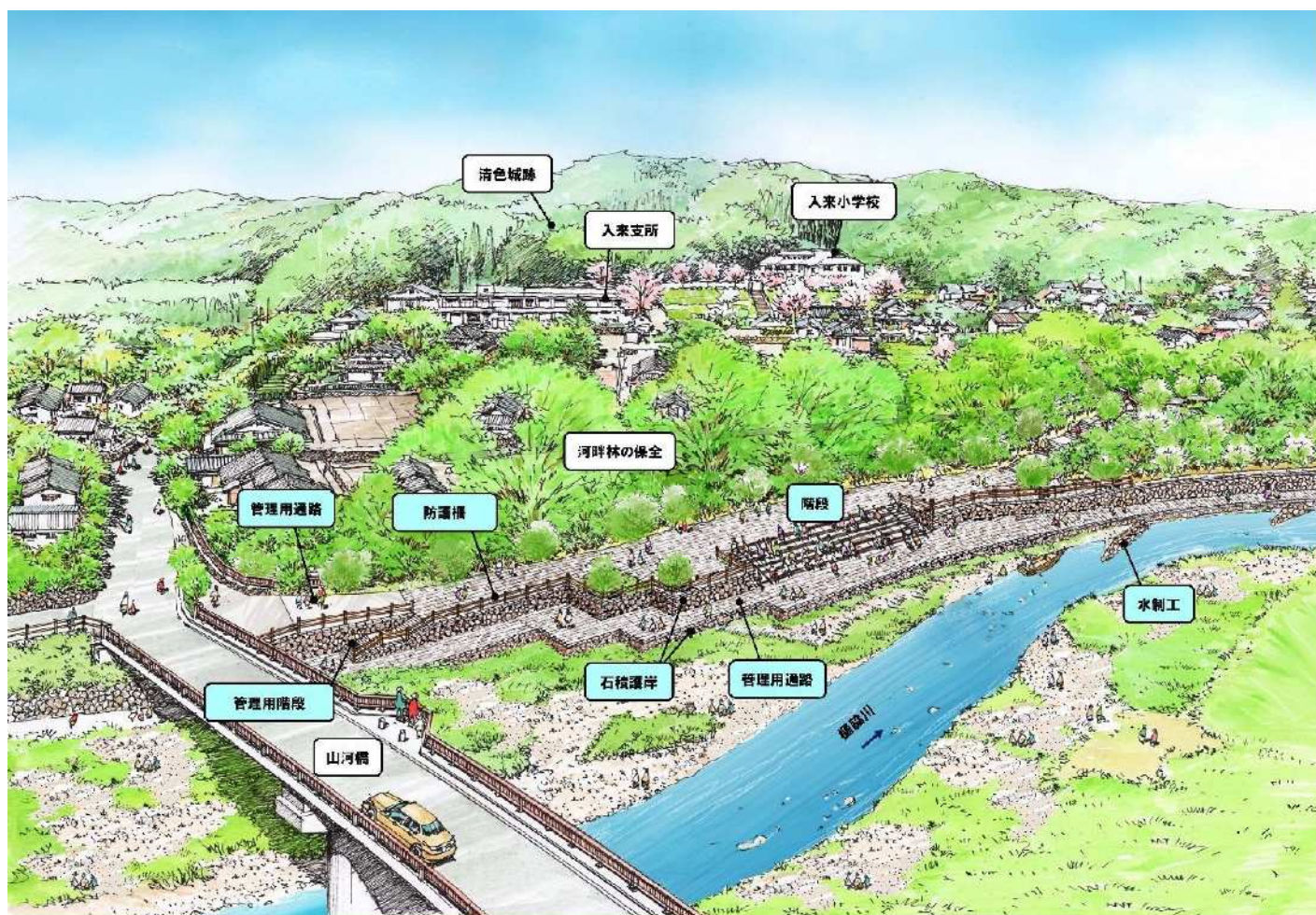
近傍の石切山(入来産の溶結凝灰岩)

- ・ 麓地区の玉石垣・清色城のイメージ、山河橋のデザイン等に配慮し、粒径を不揃いにした自然石玉石による「布目崩し積み」を採用する。

2 入来地域に係る取組 【 樋脇川 】

リバーフロント整備事業 一級河川 樋脇川

完成イメージ図



3 今後の入来地域について 【 総合計画 】

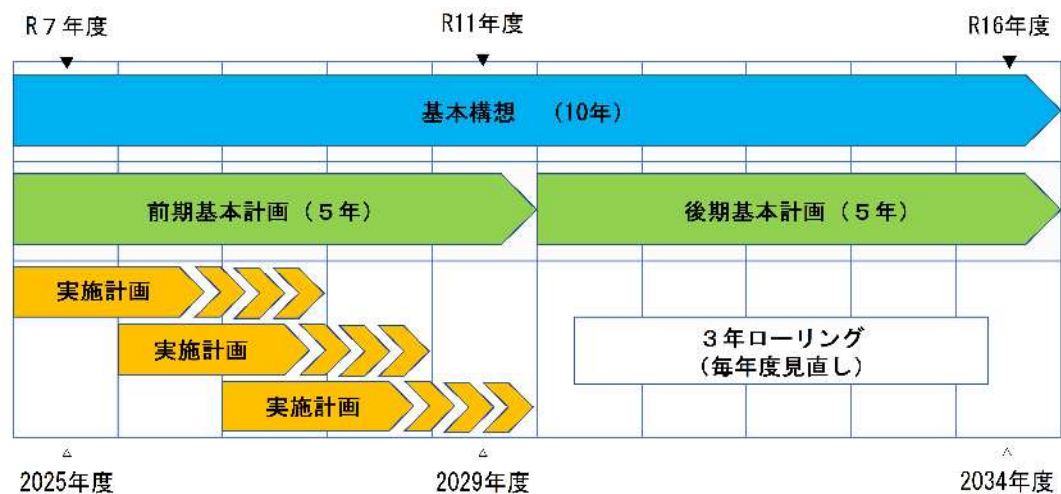
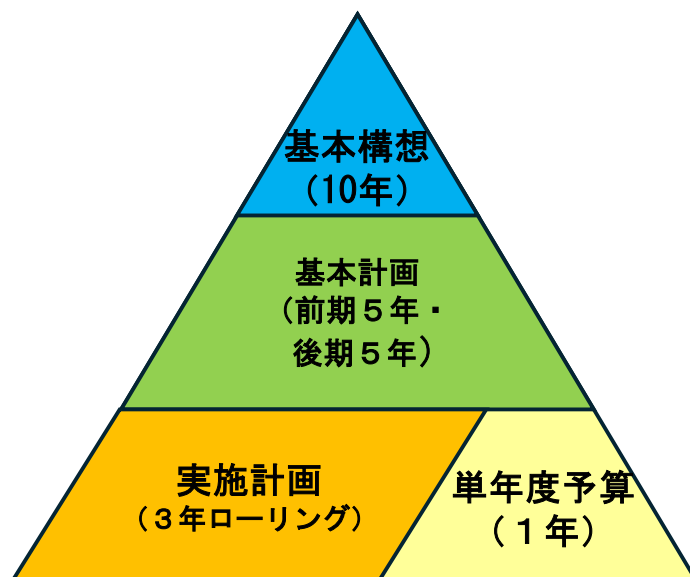
第3次薩摩川内市総合計画 (案)について

◇ 総合計画の位置付け

- ・ 総合的な市政経営を示す最上位計画
- ・ 長期的な展望に立ち、市民と本市がお互いを尊重しながら、それぞれの役割と責務を認識し、**協働でまちづくりを進めていく**ためのビジョン

◇ 第3次総合計画の期間

- ・ 令和7年度（2025年度）から令和16年度（2034年度）の**10年間**



3 今後の入来地域について 【 総合計画 】

第3次薩摩川内市総合計画 (案)について

- ・ 策定に向けて、令和2年度から3年以上かけて準備を進めている。
- ・ 市民と協働した未来のまちのビジョンとなるように、**エリアごとの広聴会（Vトーク）**を実施し、**地域の声を聴く**などの広聴活動を重ねてきた。

代表者の意見

市議会・自治総合審議会

市民の声

令和デザイントーク・みらいアドバイザー・
まちづくりデザイン会議・
広聴会（Vトーク）・
パブリックコメント等

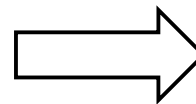
振返り

市民評価（アンケート）・
基本業務評価・K P I 等

国の動き・トレンド

S D G s・C N、デジタル活用
人口減少・社会情勢の変化 等

反映

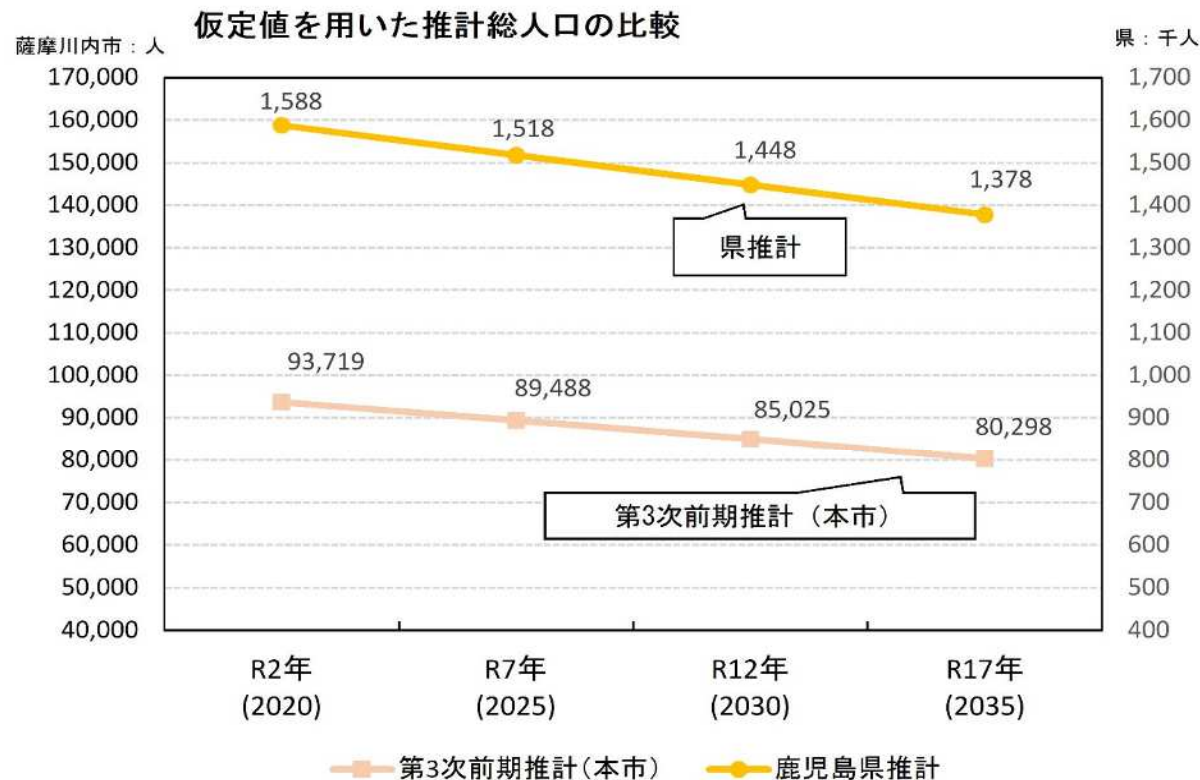


第3次
総合計画案

未来のまちの姿
人が **繋** がり 人が **輝** く
安 らぎと **賑** わいのまち 薩摩川内

3 今後の入来地域について 【 総合計画 】

R 1 7 年には市の総人口が **約 8 万人** まで減少すると予測されている
(令和 5 年国立社会保障・人口問題研究所試算)



住み慣れた地域で
住み続けることができるよう
地域の個性を活かした
取組が必要

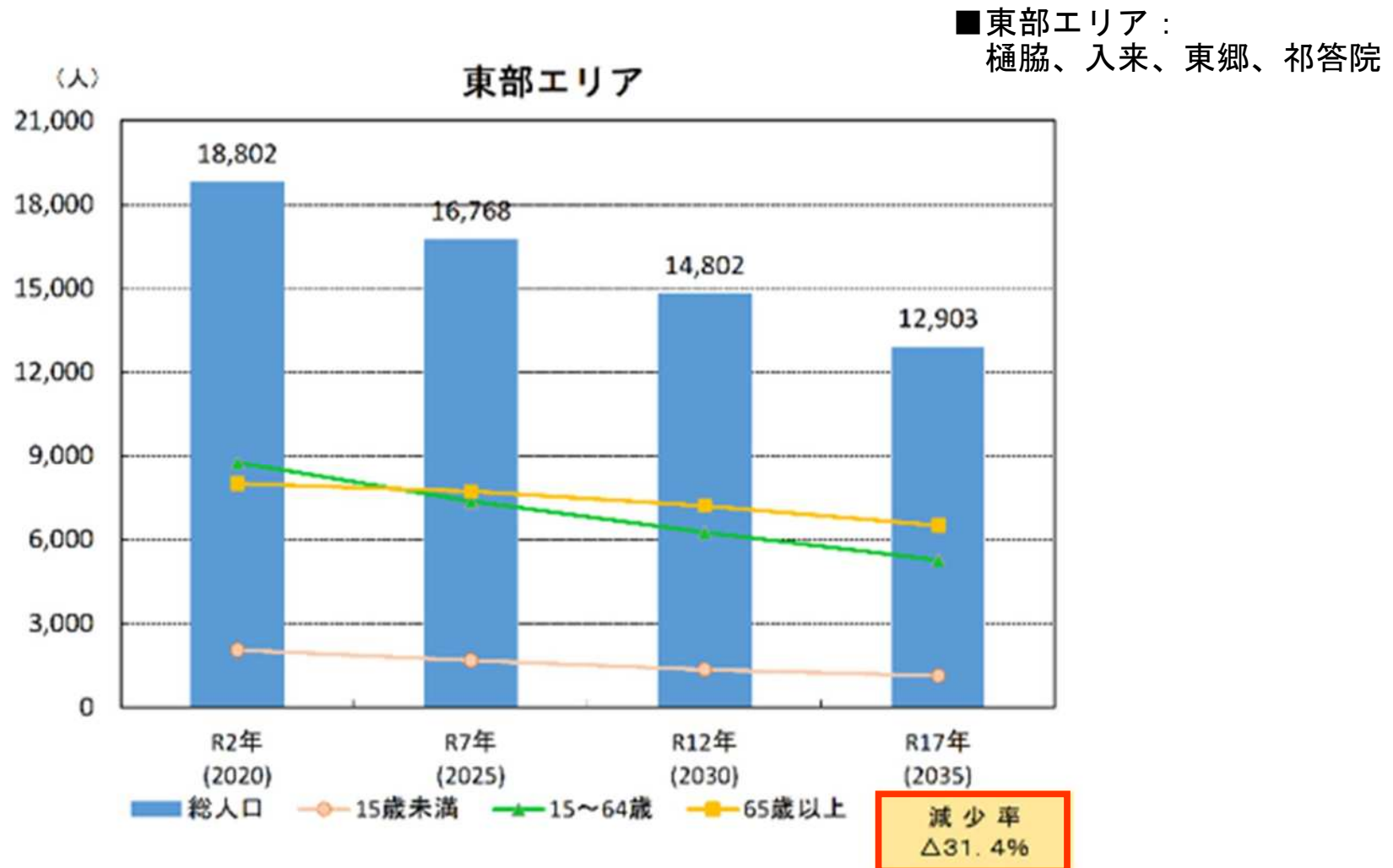
参考

県推計：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5(2023)年推計）」

第3次前期推計（本市）：住民基本台帳人口を基にコーホート変化率法を用いて市独自の推計をしたもの。

3 今後の入来地域について 【 総合計画 】

■エリア別人口の推計（令和2年から令和17年）



3 今後の入来地域について 【 総合計画 】

ゾーニング体系

人口減少・少子高齢化が進む中、地域ごとに異なる課題を明確化し、特徴を捉えた施策を展開するために…

- ▶ 市域を2圏域、6エリア、13地域、48地区としてゾーニングする



3 今後の入来地域について 【 総合計画 】

第3次薩摩川内市総合計画 前期基本計画(案) ゾーニングビジョン

東 部 エ リ ア

【 振興方針 】

多様性に富んだ自然環境を活かした観光の推進と安全・安心で質の高い農畜産物の生産体制の確保

【 2029 ビジョン（2029 年の姿） 】

新たな魅力の発信や体験型観光の実施により観光誘客が推進され、持続可能な経済社会を実現し、本市ならではの地域特性を活かした安全・安心で質の高い農畜産物の生産体制が確保されている。

3 今後の入来地域について 【 総合計画 】

第3次薩摩川内市総合計画 前期基本計画(案) 東部エリア振興の方向性

	現状 ・ 課題	エリア振興の方向性
コミュニティ	◇地域活動を継続するための担い手不足	◆自治会に対する必要な支援の展開 地域リーダーの育成
市民/ 防災/消防	◇蘭牟田池における特定外来生物の駆除とベッコウトンボの保護が課題	◆（蘭牟田池）環境・観光資源としての価値を高め、地域振興につながる取組を実施 ◆生活環境を維持する取組の実施
農林水産	◇水稲、きんかん、ぶどう、茶、野菜、畜産が盛ん ◇適正な森林整備を推進していく必要 ◇地域特性を活かした安全・安心で質の高い農畜産業の生産振興の発展に取り組む必要	◆ <u>地域特性を活かした安全・安心で質の高い農畜産物の生産体制確保</u> ◆持続可能な森林経営の推進 ◆販路拡大、生産性・付加価値の高い産地づくりの支援
商工観光/ 建設	◇豊富な観光資源（市比野温泉、武家屋敷群、東郷文弥節人形浄瑠璃、蘭牟田池など） ◇ニーズを捉えた新たな魅力の発信等により観光誘客を推進する必要 ◇交通弱者への対策が必要	◆ <u>「東部区域観光振興ビジョン」に基づく観光資源の情報発信・磨き上げ、体験型観光等の実施</u> ◆交通手段の少ない地域の移動手段確保 ◆ <u>入来工業団地の企業誘致促進</u>
文化・ スポーツ	◇歴史的建造物が多く存在 多種多様な伝統芸能を継続する担い手不足	◆伝統芸能を継承する体制づくりと人材育成